

とちぎ米産地だより 【5月号】

<25年産のとちぎ米に関する情報をいち早くお届けします！>

第14号 平成25年5月13日(月)
発行責任者:JA全農とちぎ 米穀課

1. とちぎ米生長日記

栃木県では田植えの**最盛期**を迎えております。

現在、栃木県の田植えは**約70%**が終了しており、平年並みの進捗状況です！(5月8日現在)
(栃木県は早植が84%、普通植・晩植が16%を占めています。)
丁寧に育てた苗を、田植え機で定植しています。倒伏しないような稲作りをし、品質の低下を抑制します。



田植え前には
**放射性物質〇を
目指した取組**を進め
ております！！

写真:宇都宮市
若色保志さん圃場にて
(5月3日(金)撮影)



❁ 畦畔に広がる芝桜 ❁

春の田んぼに目を向けると、今見頃を迎える芝桜も、県内の一部の畦畔や土手で見るすることができます。稲作を行うにあたって畦畔の草刈りは大変手間のかかる作業の一つですが、芝桜を植栽することによって**防草と美しい景観**といった一石二鳥の効果をもたらしてくれます。水を張った田んぼに芝桜が映る風景は、思わず足を止めて魅入ってしまうほどです。(左写真:宇都宮市内圃場)

2. 栃木県イベント情報

● 日光東照宮春季例大祭 ●

春季例大祭は日光東照宮で最も盛大な行事です。

5月17日に東照宮石鳥居手前の山内表参道大手通りで執り行われる**流鏝馬(やぶさめ)神事**は馬を操る射手の妙技と弓のさばきが見事です。

そして、なんといってもハイライトは18日の**百物揃千人行列**！徳川家康公の神霊を駿府久能山から日光へ改葬した当時の行列を再現したもので、三基の神輿と装束姿の武者たちが1kmにも及ぶ隊列を組んで練り歩く光景は圧巻です。

また巫女が舞を奉納するシーンも古式雅やかです。

行列は18日に**二荒山神社本社 → 東照宮表門前 → 御旅所 → 東照宮本社**の順に通る、観覧は自由(無料)です。

5月17日(金) 例大祭10:00～、流鏝馬神事13:00～
18日(土) 百物揃千人行列10:30～

アクセス:[バス]JR・東武日光駅から5分、バス停:神橋下車

【徒歩】駅から10分 【車】日光宇都宮道路日光ICから3km10分



3. 24年産米の品質保持のために

施設紹介 ～低温倉庫～

お米の美味しさを維持するため、玄米は気温が温かくなり始める頃より通常の保管倉庫から低温倉庫へと集約保管が開始されます。今回は玄米の品質保持に欠かせない、低温倉庫の中を紹介します！！



JAなすの 中央ライスターミナル

中央ライスターミナル(RT)は県内で最大の低温倉庫です。JAなすのは中央RTにおいて、管内で生産されるお米の約3分の1(12,000トン)のお米を温度15℃、湿度60%で1年間一定の保管管理をしています。これによって、1年間品質・食味の変化が少ない「おいしいお米」をお届けすることができます。



☆入出庫時に外気侵入を防ぐための**高速シートシャッター**

☆盗難防止及び冷氣密閉のための**厚い扉**

☆入出庫作業中のねずみの侵入を防ぐ**ねずみ返し**

これらによって低温倉庫内は**15℃以下**を常に保つことができます。

15℃設定であるのは

①お米の呼吸作用を停止できる温度であるため。

②害虫や病菌の繁殖しない温度であるため。



中央RT内は6つの低温倉庫で構成されており、各倉庫ごとに管内生産のお米が集約保管されている様子は圧巻です。

左写真はフレコン(1本1,020kg)、左下は紙袋(1袋30kg)が集約されている様子です。

倉庫内高さ2m以上の荷の積上げ・積卸しは技能講習を修了し、資格を取得した「はい作業主任者」が指導をしながら、しっかりと管理しています。



はい票せん		ロット番号				
種類	産年産地	産地品種銘柄	等級	量	目	包装
水稲375kg	24 秋 秋	コシヒカリ	1	30	kg	袋
月日	摘要 (指図書No)			ロット明細		
9/10		受入	払出	現在高		
14/倉		2/0		2/0		
17		974		11/24		
18/倉		2975		4/59		
19		2/47		7/26		
		594		7/200		
				2/129		

はい票せんは、ロットと呼ばれる

制度・年産・品種・等級などで分けられたはい毎に、入庫・出庫を管理する表です。

※ 問合せ先 ※

◆内容に関する、ご意見、ご質問、ご感想も、是非、お寄せください。

JA全農とちぎ 米穀課 電話:028-626-2174 FAX:028-621-2037